

森のおくりもの 1月



ベニマシコ（アトリ科）



今年の干支、申年（さるどし）にちなんでこの鳥を表紙に選びました。マシコはサル（紅猿）の古名。ベニマシコ（紅猿子）。ニホンザルの顔のように赤いことからこの名がついたようです。

写真：佐藤博美さん（宮城野区）

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。新年を迎え、さらに楽しい自然観察の森をめざし職員一同はりきっております。自然観察センター内では、たくさんの野鳥を暖かい部屋の中からお覧いただけるバードテーブルや楽しい冬の展示をご用意し皆様のお越しをお待ちしております。寒い日や雪の日でもお楽しみいただけますのでぜひご来館いただければと願っております。

【館長 菊池正行】

立派な長～い尾羽が美しい！ ヤマドリ



雪の上に、まっすぐ続く大きな鳥の足跡、見つけるとどこまで続いているのか、つい足跡を追って何をしているのか知りたくなります。でも、たいていは途中で見失ってしまいます。今回はその大きな鳥の足跡の持ち主「ヤマドリ」の紹介です。

エサのメニュー

シダやササなど植物の葉、ドングリ、スギの実、落ち葉、花、果実、種子、昆虫、クモ、甲殻類、陸生の貝、ミミズなど

どどどどっ！



【全長：オス約125cm、メス約55cm】

【体重：オス約0.9-1.7kg、メス約0.7-1kg】

●ヤマドリの特徴はなんといっても、オスの立派な長い尾羽。センターの「はねくじ」にも使われていますが、40cmのものから90cmのものまで！キジよりも長い！

●鳴くことはまれで、警戒する時キツキツ、キツキツと小さな声を出すことがあります。繁殖期になるとオスは羽根を使って「どどどどどっ」と大きな音を出し（ほろ打ち）、縄張り宣言や、威嚇をします。メスの気を引くのにも使われます。

●巣は木の根元などに9cmほどのくぼみを掘って作られます。一夫多妻であると言われていたヤマドリですが、実は一夫一妻であったことが2012年に獣医師によって発見されました。

●寝るときは天敵から身を守るために樹上で寝るとされていますが、発信機追跡の結果、急斜面の上の方では、地上をねぐらとして利用することもあることが明らかになりました。

●日本固有種ですが、古くから狩猟対象にされており、近年その数が減ってきていることから、環境省令により2017年9月14日までメスヤマドリの捕獲は禁止されています。姿をみることは難しい鳥ですが、羽根や足跡などの痕跡も存在感があり、みつけるとうれしくなりますよ。冬の森も歩いてみましょう！【レンジャー：黒川周子】

1月の生物ごよみ

観察の森のバードテーブルにやって来る小鳥たち②

先月に引き続きバードテーブルにやって来る小鳥達をまとめてみました。
1月にはいり冬本番！今年はどんな小鳥たちがやってくるのでしょうか。

名前	大きさ / 季節	特徴
 アカハラ	24cm / 漂鳥	胸のわき腹にかけてのオレンジ色が特徴。落ち葉をくちばしでかき分けながらミミズや木の実などのエサをさがす。毎年、観察の森のバードテーブルにやってくるが単独でしか確認されていない。
 シロハラ	25cm / 冬鳥	ここ数年前からバードテーブルにも現れるようになった。雌雄同色だが、メスの方が顔や腹部が白っぽく、目の上に薄い眉斑がある。
 アトリ	15cm / 冬鳥	オレンジ色の胸が特徴。群れで行動する。よくバードテーブルにやって来るがまったく来ない年もある。オスの方が体色がしっかりしていて鮮やかで綺麗。
 シメ	19cm / 冬鳥 漂鳥	ずんぐりとした体形で太いくちばしが特徴。そのペンチのようなくちばしでヒマワリの種などをバリバリとすりつぶし中味を食べる。バードテーブルを占領することもある。
 カシラダカ	15cm / 冬鳥	頭の冠羽が逆立っているのが特徴。雌雄同色で夏羽のオスは顔が黒くなるが、雌は一年中変わらない。バードテーブルには集団でやってくる。
 ミヤマホオジロ	16cm / 冬鳥	バードウォッチャーでは憧れの鳥のひとつでもある。雄は顔の黄色と黒がめだつ。冠羽が逆立っているのも特徴のひとつ。ここ最近バードテーブルにもやってくるようになったがあまり見ることができない。
 ガビチョウ	23cm 特定外来生物	もともとは中国が原産で、鳴き声が美しいことから籠で飼われていたが、逃げ出し野生化した。物まねが上手で、カケス、ホトトギスなど他の鳥の鳴きまねもし、よくだまされる。特定外来生物に指定されている。

【レンジャー：齋 正宏】

※冬鳥 越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国に渡って行く鳥。
 ※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。
 ※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。

森で見つけた!

今月のはっけんメモ

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

はっけんメモ その20

『冬に備えて食べ物をかくしておく、 しっかり者のどうぶつたち』

木の実などの食べ物を貯え、食べ物が少なくなる時期に備える生き物の習性を”貯食行動”と呼びます。観察の森にも”貯食”する生き物がいます。

【ヤマガラ】スズメ目シジュウカラ科

- ・貯食するのは主にエゴノキの実。
- ・大豆ほどの大きさのラグビーボール型をした堅い種子を、木の幹の凹凸の隙間などにひと粒ずつくちばしで叩いてはめ込む。
- ・隠した種子は冬季の食糧としてだけでなく、翌年の子育てにも利用する。

エゴノキの実→
花↓



【カケス】スズメ目カラス科

- ・ドングリを木の根元やその周辺に隠す。

のどに4、5粒の
ドングリをためこみ、
隠し場所へ移動する。

最大10粒くらい
一度に運ぶ個体も!

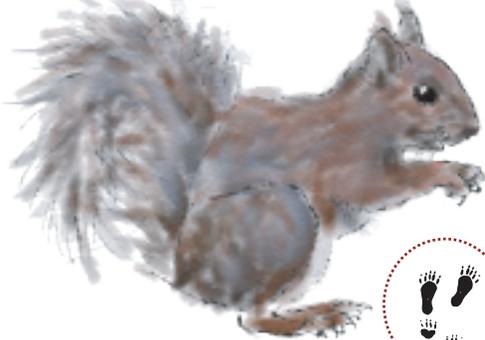


- ・ひと粒ずつ木の根元や幹の割れ目などに埋め、上を苔や落ち葉を使って隠す。

- ・隠し場所は何度か変える。

- ・野ネズミ達に横取りされてしまうこともしばしば。

【ニホンリス】げっ歯目リス科



【レンジャー：河合 遥】



- ・クルミやドングリなどを地面の落ち葉の下、樹上の枝の間などに隠す。
- ・隠し場所はほとんどは覚えていて利用するが、食べ残しが発芽する。(リスが地面に埋める深さが、クルミやドングリにとって一番発芽しやすい深さと同じ。クルミは水に流されることでも散布(※)される。)
- ・冬眠しないので、雪の上に足跡が残ったり、松ぼっくりやクルミの食べかすが散らばっていたりする。

※貯食行動は植物の種子散布の一種”貯食型散布”。食物を地中に貯える習性を持つ動物(アリ・ネズミ・カケスなど)によって貯蔵場所に運ばれ、食べ残されたり食べ忘れられたりしてその場で発芽する(ドングリ、クリ、クルミなど)。食べられたら発芽できない。

新人レンジャーの観察日記

冬になると、大人になってもついやってしまう楽しみがあります。水たまりに薄く張った氷をパリンと割るときのあの感触と音が好きで、子どもの頃のように割ってしまいます。また、霜柱を踏んだ時のサクツとした感触も小気味がよくこれらもついやってしまいます。こんなとき、音も無く灰色の空から降ってくる雪を呆然と見上げていた小さな頃をたいて思い出してしまいます。そんなことを考えると自然に関する感受性は子どもの頃のほうが豊かだったような気もしてきます。

ところで、凍えそうな冬の日、園内を巡回していたとき、市道沿いを流れる策川に鮮やかな純白の何かが見えてハッとしました。数メートル先の竹藪越しに見えたのはダイサギでした。色彩に乏しい冬の川で静かな雰囲気、身動きもせず立ちつくす姿は神聖な印象です。ダイサギは人の気配を感じるとすぐに飛び立ってしまいますが、今回は笹藪があるせいでじっくり観察することができました。ファインダー越しに観るダイサギの羽根の色は眩いほどの白さで、どうして自然界の中で生きていて汚れずにこんな無垢な白を保てるのか不思議なほどの白さでした。明るい陽射しの中ではなく、まだ仄暗い朝方に見たからなおさらそう思えたのかもしれません。ダイサギが見せてくれた自然の生物が持つ色彩に目を奪われたことで、感性は衰えてきたかもしれないが、美しいものにみとれてしまう気持ちはまだまだありそうだなと感じながら帰路につきました。

【レンジャー：阿部 正明】



【策川に佇むダイサギ】





1月

のイベント&お知らせ

◆草木染め体験～樹木の色編～

・森にある植物を使い、エコバックと大きなハンカチを染めます。

【日 時】：1月24日（日）午後1時～4時

【定 員】：10名〔先着 電話受付〕

【持ち物】：汚れても良い服装（エプロンなど）、飲み物、軍手、ゴム手袋

【参加費】：700円（材料代） 【申込み】：1月6日（水）午前9時から電話で

◆冬の森の観察会

・冬の森の中で生きる動物たちの生活サインをさがします。

【日 時】：1月30日（土）午前10時～11時半

【定 員】：20名〔先着 電話受付〕

【服 装】：歩きやすく暖かい服装，長靴など防水性のある靴

【参加費】：無料【申込み】：1月7日（木）午前9時から電話で



◆「野鳥のレストラン」を開いています！（3月末まで）

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。

◆12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。

・冬季（12月から3月まで）は午前10:00～11:30のみの開催となります。

お間違いのないようお越し下さい。



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

1月の開催日は

10日、17日、24日、31日です。

開催時間：午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよっ！

1月の休館日

年始1日～4日

5日、12日、
18日、25日

宮城交通バスの場合

- ①豊台駅 7番のりば 乗車時間 約14分
 - ②長町駅西口 3番のりば 乗車時間 約15分
 - ③八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約18分
- 【行先】①②③「太白自然観察センター」乗車
(①②のみ乗車可「仙台市太白区山田交差点」乗車可「太白区山田交差点」乗車可「太白区山田交差点」乗車可)
 いずれも豊公堂アパート前 下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ、
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩6分でセンター

♪森へおいでください♪



スタッフBLOG開始しました！
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

2016年1月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>